

お取引先様各位

2013年1月28日
鈴木住電ステンレス株式会社
品質管理部

特定化学物質へのコバルト追加指定とその対応について

拝啓、貴社益々御清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別の御高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、標記について、労働安全衛生施行令等の一部改正が公示され、新たに「コバルト及びその無機化合物」が特定化学物質の第2類に追加されることとなりました。

つきましては、法改正の主な内容と法改正に伴う弊社の対応について御連絡申し上げますので、御理解の程、何卒宜しくお願い申し上げます。 敬具

(記)

1. 法改正の主な内容 : 2013年1月1日施行

新たにコバルト及びその無機化合物が特定化学物質の第2類物質として追加され、コバルトを含有する物質については下記対応が必要となります。

詳細につきましては、厚生労働省HPを御参照下さい。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei48/index.html>

① 製品(粉末・合金等)を譲渡・提供する場合の表示(閾値 コバルト含有0.1%以上)

注:・労働者による取扱の過程において固体以外の状態にならず、かつ、粉塵、ヒューム、ミスト等が生じない製品は含まれません。

・主として一般消費者が生活で使用するものは除外します。

② 作業主任者の選任、作業環境測定の実施、特殊健康診断の実施(閾値コバルト含有1%超え)

注:「作業主任者の選任等」については除外規定があります。例えば以下の業務は除外されます。

・コバルト合金を含有する合金をプレス成型(打ち抜きを除く)する作業、加熱せずに行う圧延の作業、成形したものを単に組み立てる作業

2. 法改正にともなう弊社の対応

弊社が納入する製品について、お客様の要求や規格要求がない場合でも、上記法令に従い、検査票の備考欄に「コバルト微量含有:1%以下」「コバルト含有:1%超」「製品の安全性につきましてはSDS(安全データシートを)を御参照下さい」等のコメントを記載させていただきます。

また、取扱い上の注意事項等、製品の詳細情報につきましては、添付のSDSを提出させていただきますので、宜しくお願い致します。

尚、法改正経過措置として、設備改善等の対応は2013年12月31日、作業主任者の選任等は2014年12月31日まで猶予期間が設定されていますので、御参考までにお知らせ致します。

以上

鈴木住電ステンレス株式会社

安全データシート (SDS)

作成: 2013年3月20日(改訂1)

1 化学品及び会社情報

- ◇化学品の名称 : ステンレス鋼及び耐熱鋼
・JIS G 4309 ステンレス鋼線
・JIS G 4314 ばね用ステンレス鋼線
・JIS G 4315 冷間圧造用ステンレス鋼線
・鈴木住電ステンレス株式会社規格製品(SSSシリーズ ステンレス鋼線等)
- ◇会社名 : 鈴木住電ステンレス株式会社
◇住所 : 東京都千代田区丸の内1丁目9番1号 丸の内中央ビル
◇担当部門 : 営業部
◇電話番号 : 03-3214-4116
◇Fax.番号 : 03-3214-4040
◇緊急連絡先 : 同上

2 危険有害性の情報

- ◇GHS分類 :
<健康に対する有害性>

有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報
目に対する重篤な損傷生 又は眼刺激性	区分2B	眼への刺激性 (H320)
呼吸器感作性	区分1	呼吸するとアレルギー、ぜん息又は呼吸困難を起こすおそれ (H334)
皮膚感作性	区分1	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
生殖細胞変異原性	区分2	遺伝性疾患のおそれの疑い (H341)
発がん性	区分2	発がんのおそれの疑い (H351)
生殖毒性	区分1B	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (H360)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1	呼吸器、腎臓の障害 (H370)
	区分2	(全身毒性) 臓器の障害のおそれ (H371)
	区分3	(気道刺激性) 気道への刺激のおそれ (H335)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1	長期のわたる、又は反復ばく露による呼吸器、神経系の障害 (H372)
	区分2	長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、肺の障害のおそれ (H373)

- <環境に対する有害性>

有害性項目	危険有害性区分	危険有害性情報
水生環境有害性 (慢性)	区分4	長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ (H413)

- ◇GHSラベル要素 :
<絵表示又はシンボル>



- <注意喚起語>
危険, 警告

- <注意書き>
(安全対策)

- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと (P202)
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと (P260)
- ・取扱い後は手をよく洗うこと (P264)
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと (P270)
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること (P271)
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと (P272)
- ・環境への放出を避けること (P273)
- ・保護手袋を着用すること (P280)
- ・換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること (P284)

(応急処置)

- ・皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと (P302+P352)
- ・吸入した場合 : 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること (P304+P340)
- ・眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること (P305+P351+P338)
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合 : 医師の診断/手当てを受けること (P308+P313)
- ・気分が悪い時は医師に連絡すること (P312)
- ・皮膚刺激又は発疹が生じた場合 : 医師の診断/手当てを受けること (P333+P313)
- ・眼の刺激が続く場合 : 医師の診断/手当てを受けること (P337+P313)
- ・呼吸に関する症状が出た場合 : 医師に連絡すること (P342+P311)
- ・汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること (P362+P364)

(廃棄)

- ・内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること (P501)

3 組成、成分情報

◇化学物質/混合物の区別 : 混合物 (鉄を主成分とした合金鋼)

◇主な成分 :

成分	含有量[wt%]	CAS番号	化管法*1 政令番号	安衛法*2 政令番号
ケイ素 [Si]	5.0以下	7440-21-3	-	-
マンガン [Mn]	10以下	7439-96-5	1種412	550
ニッケル [Ni]	30以下	7440-03-0	1種308	418
クロム [Cr]	10-30	7440-47-3	1種87	142
モリブデン [Mo]	10以下	7439-98-7	1種453	603
銅 [Cu]	5.0以下	7440-50-8	-	379
ニオブ [Nb]	1.0以下	7440-03-1	-	-
チタン [Ti]	1.0以下	7440-32-6	-	-
アルミニウム [Al]	5.0以下	7429-90-5	-	-
タングステン [W]	1.0以下	7440-33-7	-	337
コバルト [Co]	1.0以下	7440-48-4	1種132	172
鉄 [Fe]	残量	7439-89-6	-	-

注) 成分の含有量は、上記の範囲において、規格の種類で異なる。

注) 上記の主要成分の他に、炭素[C]、リン[P]、硫黄[S]、窒素[N]等の微量元素を含む。

*1 化学物質排出把握管理促進法

*2 労働安全衛生法

4 応急措置

鋼材の加工等により発生した粉塵/ヒュームを吸入した場合や飲み込んだ場合、また、粉塵/ヒュームが皮膚に付着した場合は、下記の示す応急措置の後、必要に応じて医師の診断又は手当てを受けること。

- ◇吸入した場合 : 空気の新鮮な場所へ移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- ◇皮膚に付着した場合 : 速やかに多量の水と石鹼で洗う。
- ◇眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。
- ◇飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。
- ◇その他 : 鋼材切断端面及び切削屑等で皮膚を傷つけた場合は、傷口の清潔を保つ。アーク等により火傷した場合は、患部を冷やす。

5 火災時の措置

鋼材は不燃性(固体)の状態であり、周辺の火災時にも消火器・水による消火を行っても問題ない。ただし、微粉は燃焼、爆発性を有する場合がある。

- ◇消火剤 : 火災の状況に適した消火剤を使用する。
- ◇使ってはならない消火剤 : 情報なし

6 漏出時の措置

鋼材は固体であり、一般的な環境下では漏出することはないが、鋼材の加工等により発生した粉じん/ヒュームは下記に示す措置を実施すること。

- ◇人体に対する注意事項 : 適切な保護具を使用して、粉塵/ヒュームの吸入や眼への侵入を防ぐこと。
- ◇保護具及び緊急時措置 : 箇条8 (ばく露防止及び保護措置)の保護具を参照のこと。
- ◇環境に対する注意事項 : 切断・研磨等の加工で発生した粉塵等は、速やかに回収する。
- ◇封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 鋼材の加工等により発生した粉塵等は、適切な方法で回収した後、漏出を防止すること。

7 取り扱い及び保管上の注意

◇取り扱い :

<技術的対策>

鋼材を溶接、溶断又は研磨等の加工を行い、粉塵/ヒューム等が発生する場合は、適切な保護具を着用すること。

また、粉塵/ヒューム等が発生する場合は、必要な局所排気/全体換気を行うこと。

<安全取り扱い注意事項>

重量物の為、転倒、荷崩れ、落下には注意する。

鋼材の切断端面及び切削屑等は、「バリ」「カエリ」などにより皮膚を傷つける場合がある。

溶接、溶断等にとまなうアークは火傷を起こす場合がある。

結束及び梱包フープ(バンド)の切断時に、フープの跳ね返りやフープ先端に注意を要する。

特にコイル製品の場合には、コイル先端が跳ね上がる可能性があるため安全には十分な留意を要する。

◇保管 :

<安全な保管条件>

水漏れ、酸、アルカリもしくはそれらを含んだ物質との接触を避けること。

高温多湿の環境を避ける。必要であれば、雨水浸透防止、錆防止のためのシート、カバー、梱包等を行うこと。

8 ばく露防止及び保護措置

鋼材は通常の状態では固体であるため、一般的な環境下では、ばく露防止及び保護措置に関する有用な情報はない。ただし、溶接・溶断又は研磨、切削等の加工の際は、ヒュームや粉塵類が発生するので、下記に示す設備対策及び保護措置を実施すること。

◇許容濃度 :

成分	CAS番号	日本産業衛生学会	AGIH*1
		許容濃度 [mg/m ³]	TLVs-TWA [mg/m ³]
マンガン [Mn]	7439-96-5	0.2	0.2
ニッケル [Ni]	7440-02-0	1	1.5
クロム [Cr]	7440-47-3	0.5	0.5
モリブデン [Mo]	7439-98-7	-	10(I)/3(R)*2
銅 [Cu]	7440-50-8	-	1*3/0.2*4
アルミニウム [Al]	7429-90-5	-	1(R)*2
タングステン [W]	7440-33-7	-	5
コバルト [Co]	7440-48-4	0.05	0.02

注1) NITE HP/化学物質総合情報提供システム (CHRIP) 検索結果

注2) 表中の“-”は、区分外又は分類できないことを意味する。

*1 American Conference of Governmental Industrial Hygienists ; 米国産業衛生専門家会議

*2 (I); Inhalable fraction (R); Respirable fraction

*3 Dust and mists, as Cu

*4 Fume

◇設備対策 : 粉塵/ヒューム等が発生する場合、適切な換気対策を実施し、作業環境を確保すること。

◇保護具 : 粉塵/ヒューム等が発生する場合、適切な呼吸用保護具、保護手袋、保護眼鏡、保護衣、安全靴等を着用すること。

9 物理的及び化学的性質

◇物理的状态、形状、色など : 銀白色の固体

◇臭い : 金属臭

◇融点 : 1370°C以上

◇比重(相対密度) : 7~9g/cm³

◇溶解度 : 水に不溶

10 安定性及び反応性

◇安定性 : 一般の環境下では、安定している。

◇危険有害反応可能性 : 水や酸などの化学物質と接触すると、酸欠、有害なガス発生の原因となる可能性がある。

◇避けるべき条件 : 高湿、混触危険物質との接触を避ける。

◇混触危険物質 : 酸化性物質など。

◇危険有害性のある分解生成物 : 溶接・溶断などの加工時に発生するヒューム中に金属化合物が含まれる可能性がある。

11 有害性情報

有害性項目

有害性項目	[Mn]	[Ni]	[Cr]	[Mo]	[Cu]	[Al]	[W]	[Co]
急性毒性	-	-	-	-	-	-	-	-
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分3	-	-	-	-	-	-	-
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	区分2B	-	区分2B	-	-	-	区分2B	-
呼吸器感作性又は皮膚感作性	-	区分1	区分1	-	-	-	-	区分1
生殖細胞変異原性	-	-	区分2	-	-	-	-	-
発がん性	-	区分2	-	-	-	-	-	区分2
生殖毒性	区分1B	-	-	-	-	-	-	区分2
特定標的臓器毒性、単回ばく露	区分1	区分1	区分2,3	区分3	区分3	-	-	区分3
特定標的臓器毒性、反復ばく露	区分1	区分1	-	-	区分1	区分1	-	区分1
吸引力呼吸器有害性	-	-	-	-	-	-	-	-

注1) NITE HP/化学物質関連情報/GHS関連情報検索結果

注2) 表中の“-”は、区分外又は分類できないことを意味する。

注3) 区分の情報は、箇条2(危険有害性の要約)を参照のこと。

12 環境影響情報

有害性項目	[Mn]	[Ni]	[Cr]	[Mo]	[Cu]	[Al]	[W]	[Co]
水生環境有害性 (急性)	-	-	-	-	-	-	-	-
水生環境有害性 (慢性)	区分4	区分4	-	-	区分4	区分4	-	区分4

注1) NITE HP/化学物質関連情報/GHS関連情報検索結果

注2) 表中の“-”は、区分外又は分類できないことを意味する。

注3) 区分の情報は、箇条2(危険有害性の要約)を参照のこと。

13 廃棄上の注意

◇残余廃棄物 :

産業廃棄物に関する法律、都道府県または市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で処分すること。

◇汚染容器及び包装 :

容器及び包装に汚染物質が付着している場合、残余廃棄物と同様に、産業廃棄物に関する法律、都道府県または市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で処分すること。

14 輸送上の注意

輸送に関する国際規制対象物質に該当しない。

15 適用法令

◇労働安全衛生法 第57条の2第1項 (通知対象物)

◇化学物質排出把握管理促進法 第一種指定化学物質

16 その他の情報

◇参照資料等

- ・GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針 (2012年6月 一般社団法人 日本化学工業協会)
- ・GHS対応-化管法・安衛法におけるラベル表示・SDS提供制度 (平成24年10月 経済産業省、厚生労働省)
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) ホームページ
- ・混合物分類判定システム (経済産業省)
- ・職場の安全サイト (厚生労働省)

本データシートは、日本工業規格 Z7253:2012「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)」(以下「JIS」という)に準じて作成されており、用語の定義は、JISに従っています。

本データシートは、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で弊社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。取扱事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実体に応じた適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保証するものではなく、本データシートに記載されていない弊社が見聞を有さない危険性がある可能性があります。

以上

鈴木住電ステンレス株式会社

安全データシート(SDS)

作成:2013年1月17日(改訂0)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: 鈴木住電ステンレス(株)規格 マルエージング鋼線
(製品名)
会社名: 鈴木住電ステンレス株式会社
住所: 東京都千代田区丸の内1丁目9番1号 丸の内中央ビル
担当部門: 営業部
電話番号: 03-3214-4116 FAX番号: 03-3214-4040
緊急連絡先及び電話番号: 同上
作成・改訂: 2013年1月17日

2. 危険有害性の要約

GHS分類及びGHSラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性	区分3
目に対する重篤な損傷性・目刺激性	区分2B
呼吸器感受性	区分1
皮膚感受性	区分1
生殖細胞変異原性	区分2
発がん性	区分2
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器、腎臓) 区分2(全身毒性) 区分3(気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(神経系、呼吸器)

環境に対する有害性

水生環境有害性(慢性) 区分4

※上記に記載がない危険有害性は、区分外、分類対象外、または分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

軽度な皮膚刺激
目への刺激
呼吸するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害(呼吸器、腎臓)
臓器の障害のおそれ(全身毒性)
呼吸器への刺激のおそれ(気道刺激性)
長期又は反復ばく露による臓器の障害(神経系、呼吸器)
水生生物に長期的影響により有害のおそれ

注意書き

安全対策

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
適切な個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 取り扱い後はよく手を洗うこと。
 環境への放出を避けること。

応急措置

吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
 目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
 目の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
 皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めること。
 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
 漏出物は回収すること。

保管（貯蔵）

施錠して保管すること。

廃棄

内容物や容器は、国際、国、都道府県、又は、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報 単位／混合物の区分：混合物（合金）

《主な成分》

成分			含有量 (Wt%)	CAS番号
鉄	[Fe]	-	残量	7439-89-6
クロム	[Cr]	*1), *3)	0~6	7440-47-3
ニッケル	[Ni]	*1), *3)	0~26	7440-02-0
マンガン	[Mn]	*1), *3)	0~3	7439-96-5
モリブデン	[Mo]	*1), *3)	0~15	7439-98-7
コバルト	[Co]	*1), *2)	0~20	7440-48-4
バナジウム	[V]	-	0~1	7440-62-2

*1) PRTR法で選定された物質（第一種指定化学物質）の対象。
 *2) 労働安全衛生法の表示対象物。 *3) 労働安全衛生法の通知対象物質。
 但し、本製品は固体金属であるが、7項「取扱い及び保管上の注意」を参照のこと。

注1) 成分値は上記成分範囲において、鋼種規格により異なる。
 注2) 用途により上記主成分以外に微量元素を含むものもある。
 注3) 詳細はミルシートに記載。

4. 応急措置

前記2項を参照すること。

5. 火災時の措置

不燃性の状態であり、また、周辺の火災においても、通常の散水・消火器等の使用に制約はない。

6. 漏出時の措置

製品状態では、形状のある固体であるため、該当する事項はない。
 粉じん状態で飛散した場合は、適切な手段で回収し、カバーで覆う等、飛散防止すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- (1) 本製品を取り扱う場合、呼吸器、皮膚、目、及び身体を保護するため、適切な保護具を着用すること。
- (2) 本製品を、加熱、溶融、切削、研磨等の加工を行い、粉じん・ヒューム等が発生する場合は、装置の密閉化あるいは排気を十分に行なう等、身体へのばく露を防止すること。
- (3) 本製品を保管する場合、施錠して保管すること。粉じん状態での保管は飛散しないようにカバー等で覆うこと。

8. ばく露防止及び保護措置

適切な個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 特殊鋼材（固体）
 引火点 : 該当なし。但し、加工により生じた微粉は、燃焼、爆発性を有する場合がある。
 融点 : 1400℃以上
 比重 : 7~9

10. 安全性及び反応性

安全性: 通常状態では化学的に安定している。
 有害分解物質: 加熱、溶解、研磨等、加工時には金属化合物を生成する。

11. 有害性情報 前記2項を参照すること。
12. 環境影響情報 前記2項を参照すること。
13. 廃棄上の注意 本製品、端材、切断屑等、及び、梱包材を廃棄する場合、国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。
14. 輸送上の注意 マルエージング鋼線としては、該当する事項はない。
15. 適用法令 労働安全衛生法、化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）
16. その他の情報
- (1)危険物データブック(東京消防庁 警防研究会)
 - (2)主要1000種データ特別調査レポート(海外化学技術資料研究会)
 - (3)Metallic Alloys and Harmonization of Classification Criteria (OECD)
 - (4)化学製品の安全性データシート(ISO 11014-1)
 - (5)日本産業衛生学会勧告値、ACGIH(米国産業衛生専門家会議)勧告値
 - (6)危険・有害物便覧(労働省安全衛生部監修:中央労働災害防止協会)
- ◆記載内容の取扱い
- (1)記載内容以外の特異な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、加工願います。
 - (2)記載の危険性、有害性、環境影響評価等に関しては情報提供であり、保証するものではありません。